

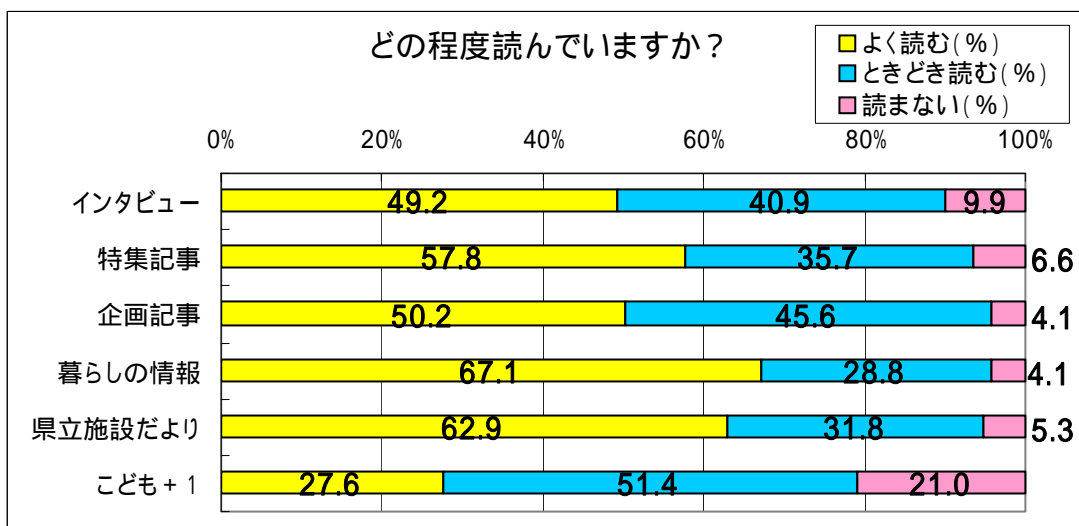
県政広報誌「滋賀プラスワン」に関する県政モニターアンケート調査の結果

アンケート調査の概要

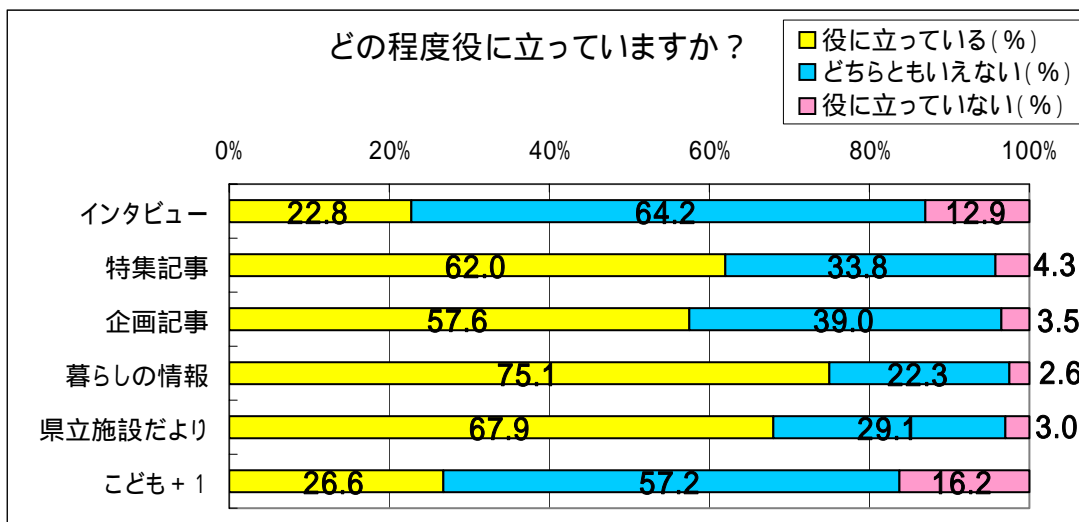
1. 調査時期 平成18年6月
2. 対象者 県政モニター 300人
3. 回答数 247人(回答率82.3%)
4. 担当課 広報課
5. 調査目的 県が発行している広報誌「滋賀プラスワン」は、A4判カラー16ページ・冊子タイプで制作しています。平成16年度に実施しました県政モニターアンケートの結果によると、現状の誌面は概ね好評をいただいているところですが、読者のみなさまの率直なご意見をいただき、さらなる充実を図るためアンケートを実施しました。

調査結果

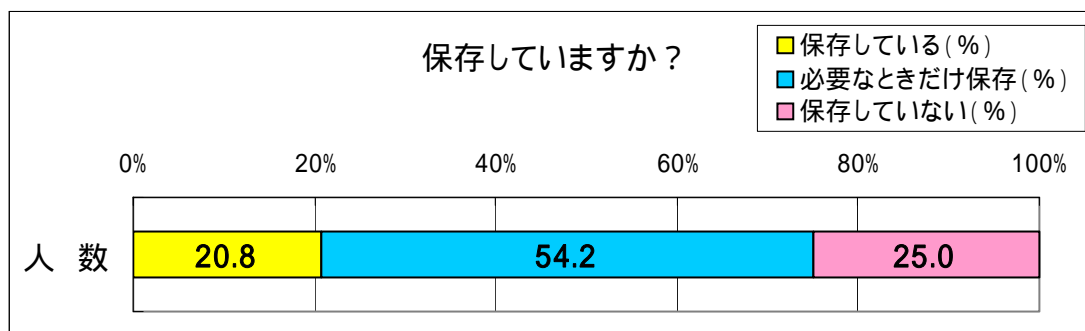
1. それぞれの内容について、どの程度読んでいますか？



2. それぞれの内容は、どの程度役に立っていますか？



3. 広報誌を保存していますか？



4. 県政に関する情報でほしい情報は何ですか？

(上位となった項目)

- 1位 県立施設の催し
- 2位 新しい制度に関する情報
- 3位 県主催事業への参加募集
- 4位 重点的に取り組んでいる施策の情報

(その他)

各種相談窓口、議会情報、施策の進捗状況(成果)、県へ寄せられる要望・意見

5. 広報誌全般についてのご意見・ご提案等

回答者のうち4分の1の方が「現状のままで読みやすい。」と自由記述欄に特記しています。

(良い点)

- ・ 文字の大きさ、カラー刷り、イラストや写真が多用されていること。
- ・ うおーたんのキャラクターが親しみやすい。
- ・ 子どもにもわかりやすい。
- ・ 100%再生紙、大豆油インクが使用されていること。

希望の多いテーマは、子ども・教育、高齢者、環境。個別には、道の駅、花の名所、史跡、県政に対する県民からの苦情・要望と対応結果、読者の声、各市町の紹介などでした。

各機関の職務内容の紹介、知事、幹部の県政に対する思いを述べる場にしてほしいなど、県庁を身近に感じられるような内容を求める意見もありました。

体裁や編集について、ふりがなは必要な場合のみにする、カラー刷りは良いがカラフル過ぎて落ち着かないので色づかいを工夫する、地図を載せる、専門用語を避ける、高齢者に向けた文字の大きさなどの配慮、掲載情報の地域バランスへの配慮などに対して、改善を求める意見がありました。

その他には、紙質、カラー印刷、配布方法など経費削減に関する質問や意見がありました。